

日本医労連 05年度第7号 2006. 6. 22

# 青年協ニュース

全国の取組みやチラシ・ニュース等をお寄せください!

FAX: 03-3875-6270 か [seinen@irouren.or.jp](mailto:seinen@irouren.or.jp) まで

青年協のブログ ( <http://irouren.cocolog-nifty.com/seinen/> ) もよろしく!

## 中国から全国へ熱いアクトパワーを送信!!

### みんなで、踊りまくったよ~♪

— 中国ブロックで、全国に先駆けてアクト開催! —

中国ブロックでは、全国の先頭をきって、6月17日(土)~18日(日)にブロックアクトを岡山県「サンロード吉備路」で開催しました。ところが、何が悪かったのか・・・??参加人数が34人。過去最低です・・・。しかし、青年はすごい!!過去にない「最高のACT」でした。

初日は、緊張をほぐすべくゲームで一気に打ち解けました。次は学習会、班でテストをしてもらいました。作成者のレベルが高かったのか?作成者が意地悪だったのか?「難しい」と悪評でした。でも「これを機に知らなかった事が多すぎたから少しずつ学習していきます」と、参加者から意見があり、一応ホッと...しました。夜はミニ夜



少ない人数でも大いに盛り上がっています

祭りを開催。昨年の全国アクトの様態を上映し、パワーポイントでアクトの説明をし、最後は「北海道:いか踊り」「東北:ねぶた」「御当地:うらじゃ」を全員で踊りまくりました。みんなとても初参加?初対面?とは思えないほど、はじけまくりでした。小さな輪が最後には全員で大きな輪を作って踊りました。



みんなではじけ、踊りまくりました

翌日は、梅雨空は何处へ・・・「晴れの国岡山」にふさわしく快晴で、宿泊施設内の「たんちょうづる公園」と近くの「国分寺」へハイキング。ちょっとくたびれたけど、交流を一層深めることができました。閉会式では短かった2日間を名残惜しむかのように、目を潤わせ、来年の全国アクトでの再会を誓い合いました。

正直、参加人数が出たときは不安がかなりあって、「中止」の2文字も頭を横切りました。でも実際本番を迎えると、参加者一人ひとりが主役になってくれて、逆に実行委員にパワーをくれました。

今回のアクトは反省あり、涙あり、笑いありで青年委員・実行委員・書記長ともども、いろいろ考えさせられるアクトになりました。このアクトで出た課題を書記長と中国ブロック青年委員たちで力を合わせ解決していきたいと思います。これをスタートとし頑張っていきます。

「最低の参加人数で、最強の参加メンバーと、最高のアクト」にすることができました。これから本番を控えている全国の皆さん、実行委員のみなさん、頑張れば必ず報われます。（青年協副議長・岡山県医労連青年部長・全医労長島支部 浜村裕子）



国宝の備中国分寺の前で記念撮影

## お知らせ

# 7月1日、CGT（フランス労働総同盟）の青年代表が来日、働くルール語る

全労連青年部や学生団体、日高協などが参加する「高校・大学生、青年の雇用と働くルールを求める連絡会」の主催する、「青年の雇用と働くルールを求める全国交流集会」が、7月1日、CGT（フランス労働総同盟）の青年代表、**ジョフレー・セザリオン**さんを招いて、東京永田町の社会文化会館3F第1会議室にて、11時～16時の間で開催されます。

全体が2部構成で、第1部は、「解雇自由（CPE）を撤回させたフランスの若者との交流」、第2部は、「青年の雇用・失業を打開する交流集会」として、太田政男（大東文化大学教授）氏と唐鎌直義（専修大学教授）氏をコメンテーターに、各団体・各地の取り組みを交流します。

詳細は、「青年のページ」<http://www.irouren.or.jp/jp/html/menu7/2006/20060622111714.html>を参照してください。集会のチラシもアップしています。青年に限らず、雇用政策に関心のあるかた、東京近辺の方々の参加を積極的に呼びかけます。

## 東京・社会文化会館（永田町）にて